



日本共産党杉並区議会議員

週刊

# こんにちは 山田耕平 です

2022.3.31 No.440

このニュースへのご感想  
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺2-2-11

TEL 090-9973-0941

ホームページ

<http://yamadakohei.jp>

右QRコードを  
ご活用下さい



## 来年度予算案に反対 田中区政3期12年の問題点噴出…

# 住民本位・福祉向上の杉並区政に転換を

杉並区議会第1回定例会が3月16日に閉会しました。今定例会は新年度の予算案を審議する重要な議会となります。日本共産党杉並区議団は質疑のなかで予算案と田中区長の3期12年の区政運営の問題点を浮き彫りにし、その改善と福祉向上を求め、予算案に反対しました。

### 負担増、施設削減、道路強行… 田中区政の問題が噴出する予算案

コロナ禍により住民への影響が深刻化するなか、住民の命と暮らし、営業を守り、福祉を拡充する予算編成が必要です。党区議団はこうした観点と共に、これまでの田中区長の区政運営を振り返りつつ予算分析を行なってきた結果、新年度予算案は住民福祉の向上という自治体責務が果たされておらず、田中区長の3期12年の区政運営の問題点が、より顕著に示されたものと判断しました。

### 国保料の値上げは許されない 高齢者施策は極めて不十分

予算案では、一人当たり5512円の値上げとなる国民健康保険料が提案されました。コロナ禍で医療費が増大するなか、特別な財政措置等を行わずに増加分を保険料に上乗せすることは、コロナ禍で雇用不安や営業不振など深刻な事態の被保険者に追い打ちをかけるものであり、重大な問題です。

田中区政下において、極めて不十分な福祉施策が続いており、その象徴が高齢者施策です。この間、党区議団は、一貫して高齢者施策の充実を求めてきました。

## 新年度予算への各会派賛否

会派名	自民	公明	共産	連携	立無	平和	無維	革新	正理
賛否	○	○	×	×	○	○	○	×	×

※連携の1名は賛成、立無の1名は反対。

### 児童館、ゆうゆう館等の施設廃止やめよ 都市計画道路や再開発等は中止を

区立施設再編整備計画のもと、児童館、ゆうゆう館、集会施設など区民の活動や地域コミュニティを支える重要な区立施設が乱暴に削減され、今後にも削減が強行される状況です。質疑を通じ、児童館機能が大幅に低下していることも浮き彫りとなりました。区が広報で大絶賛した一方で、現実には様々な問題が発生していることを重く受け止めるべきです。

住民生活を破壊する都市計画道路整備が、住民合意無く進められています。総合計画等のパブリックコメントには、都市計画道路整備や駅前再開発の中止・見直しを求める声が多数寄せられています。都市計画道路の強行は『まち壊し』に他ならず、直ちに停止すべきです。

補聴器やシルバーカー等の高齢者が使用する福祉用具への支援についても、区は2019年度の高齢者実態調査をもとに検討するとしてきましたが、今回の委員会質疑で、さらに次の実態調査を待つて検討すると答弁。実態調査は3カ年毎に実施されており、数年来課題を先延ばしにする姿勢は許されません。

党区議団が委員長を務める区民生活委員会で徹底審査に取り組む

# 杉並区議会の陳情審査率が一部向上へ

## 杉並区議会の陳情審査状況

■令和2年度末 請願陳情審査状況  
(令和3年3月31日時点)

総数	審査数	未審査	審査率
97	11	86	11.3%

■令和3年度末 請願陳情審査状況  
(令和4年3月28日時点)

総数	審査数	未審査	審査率
130	27	103	20.8%

**住民の声に背を向ける  
委員長の姿勢は問題**

党区議団が積極的な審査に取り組む一方、保健福祉委員会(自民)、都市環境委員会(公明)の各委員長は、善福寺児童館廃止の見直しを求める陳情(署名:851筆)を審査せず「みなし不採択」とし、都市計画道路補助132号線の計画見直しを求める陳情(署名:6千筆以上)の審査を行わない等、重大な問題があります。速やかな審査を実施することが必要です。

※善福寺児童館の廃止議案が提案された第3回定例会において、陳情を審査せず、廃止議案の採択と共に、陳情は「みなし不採択」と決定した。陳情審査当日は、陳情提出者の補足説明も認められなかった。

### 今週のコマ

#### 地域の伝統を引き継ぐためにも

善福寺児童館の餅つき大会には、長年、おやじの会有志が助っ人として参加してきました。私も地域の方々から餅のつき方や返し手の方法等を教えてもらってきました。



児童館を拠点として、地域の伝統行事が次の世代に引き継がれる機会となりました。

杉並区の姿勢は、この取り組みを壊しかねないものがあり、大きな問題があります。

**杉並区議会の陳情審査率は異常な低さ  
令和2年度末時点では僅か11%:**

杉並区議会では、住民から区議会に提出された陳情の審査率が極めて低い状況です。

陳情は、陳情付託委員会の委員長判断で審査が行なわれますが、委員長が積極的な審査を拒む場合は、審査されず「塩漬け」状態となり、議員任期が終了するタイミングで審議未了・廃案になります。この問題について、党区議団は一貫して速やかな審査を実施するよう、あらゆる場面で求めてきました。

**党区議団が委員長を務める区民生活委員会  
陳情審査率100%に向けて積極審査**

党区議団は令和3年度の常任委員会については、区民生活委員会の委員長(富田たく区議)を務めることになりました。

区民生活委員会では、委員長判断のもと積極的な陳情審査を実現。陳情審査率の向上を目指した委員会運営を行いました。その結果、現時点で9件の陳情を審査。新年度に入り、閉会中審査を実施する見通しとなり、区民生活委員会の陳情審査率は100%となる状況です。

## 2021年度末で善福寺児童館が廃止へ… 児童館最後の餅つき大会が開催される

3月27日(日)2021年度末で廃止される善福寺児童館の最後の餅つき大会が開催されました。私もおやじの会のメンバーとして餅つきの助っ人に参加しました。

コロナ禍の中、近隣児童館の餅つき中止が相次ぐなか、善福寺児童館最後の餅つきを実施するため、近隣町会や団体等の関係者が開催方法を工夫し、実現したものです。

参加した方々からは、児童館の廃止を惜しむ声や餅つき大会を始めとする地域行事を存続してほしいという声が相次ぎました。



これまで子どもたちを中心とした地域コミュニティの核となり、運営をサポートしてきた方からは、「杉並区の「愚策」によって、地域のコミュニティが無くなることの無いようにしたい」との声も出されました。

児童館廃止が地域に与える影響は深刻です。乱暴な児童館廃止を強行する区政を転換する必要があります。